

**2020年度 事業計画書**  
**(2020年4月1日～2021年3月31日)**

**公益財団法人 アサヒグループ芸術文化財団**

## 2020年度 事業計画書

美術・音楽・舞台芸術の3部門における個人及び芸術団体の優れた意義を有する芸術活動に対して助成支援を行うとともに、アサヒビール大山崎山荘美術館の運営の文化事業を行う。

助成にあたっては、独創性、地域活性化、国内外交流促進、社会へのメッセージ等の観点から対象者を絞り込み、助成先活動を支援する。また、授与式を開催し、助成先同士および選考委員との交流、意見交換の場とする。さらに、選考委員および事務局による活動、公演の視察、評価を実施し、助成の効果を検証することも行う。こうした取り組みを進めることによって、助成先の満足度を高めると同時に、助成事業の価値を一層高め、財団の使命を達成していく。

アサヒビール大山崎山荘美術館の運営については、お客様満足・認知度を高め、魅力を発信するとともに、関係先との連携を密にして、建物の充実も図る。

### 主たる事業の計画

#### 1. 芸術文化活動への助成

##### 1) 美術、音楽、舞台芸術への助成

2019年度に開催した選考委員会の答申に従い、美術、音楽、舞台芸術の3部門、総計474件（2019年度531件）の案件から、30件に対し総額1,500万円の助成を実施する計画。

##### 2) 日本伝統工芸展への助成

伝統工芸の技術の保存と活用、伝統文化向上に寄与する目的で開催されており、2008年から助成をしている。2020年度は50万円の助成を実施する計画。

#### 2. アサヒビール大山崎山荘美術館の運営

所蔵品・建物・庭園・歴史・立地・人の強みを最大限に活かし、お客様満足・認知度（存在感）を高める。

##### <お客様満足の追求>

期待を超える企画・サービスによりお客様満足を追求する。

## 1) 魅力ある企画展の開催

所蔵品を最大限に活用したストーリー性・メッセージ性のある企画展を実施する。

時期	企画展の名称
春) 3/20～6/14	生誕 130 年 河井寛次郎展 —山本爲三郎コレクションより
夏) 6/27～9/6	スイスの絵本作家展 —クライドルフ、フィッシャー、ホフマンの世界
秋) 9/19～11/30	藤田嗣治 —手紙の森へ
冬) 12/12～3/7 (2021)	みうらじゅん展

◆河井寛次郎展：河井寛次郎の生誕 130 年を記念して開催するもの。本展では山本家から当館に寄贈され、開館以来当館所蔵品の軸である山本爲三郎コレクションを中心に、初期から晩年まで河井の貴重な作品の数々を紹介する。  
また、初めて河井寛次郎作品図録を作成する。

◆スイスの絵本作家展：大山崎山荘を建てた加賀正太郎は、スイスの名峰ユングフラウに登頂した初めての日本人として知られている。また、大山崎町は以前からフェンシング競技に力を入れており、スイスフェンシング連盟との縁もあって東京オリンピックではスイスのホストタウンとなっている。東京オリンピック・パラリンピック期間中に開催する本展では、大山崎とスイスの交流を記念して、スイスを代表する絵本作家 3 名（クライドルフ、フィッシャー、ホフマン）の原画や手書き絵本、版画などを紹介する。また、この企画展を活用し児童の教育普及活動をおこなう。

◆藤田嗣治（日本経済新聞共催）：世界への扉を最初に開いた日本の画家・藤田嗣治。1920 年代のパリを拠点に独自の個性と画風を確立し人気を博した最初の日本人画家という従来のイメージに加え、没後半世紀を経た近年では、藤田による多くの手紙の存在が確認されて整理公開、復刻が進んでいる。本展は画家が書いた手紙を中心に構成し、手紙と同時代の絵画作品等も合わせて紹介していく。画家が生きた時代とその世界を理解する一助となることが期待される。

◆みうらじゅん展（京都新聞共催）：イラストレーター、エッセイスト、ミュージシャンなど多分野で活躍する京都出身で京都をこよなく愛するみうら氏が、独自の感性と視点で蒐集した、自ら「マイ遺品」とするコレクションを一挙公開する。

2) 接客クオリティの向上

受付・喫茶・館内案内・送迎サービス・問い合わせ対応等、接客のクオリティを向上させる。

3) 建物・庭園の整備

建物・庭園に外国語表記板の掲出、京都府と連携した庭園の整備を行う。

4) 存在感を訴求する情報発信

マスコミ・京都府・大山崎町との関係づくり・連携を強化すると共にデジタル広報を強化し情報発信力を向上させる。

<教育普及活動の本格始動>

“社会の創造性を高める拠点”という美術館に求められる要件に応える。

“子供とアートとのコミュニケーションを図り、子供の新たな創造性を引き出す場”となるべく児童の普及活動を本格的にスタートさせる。

<リスクに対する態勢構築>

1) 事故防止策の総点検 お客様導線の整備 他

2) 自然災害、人為災害、業務妨害に対する対応策の総点検

「緊急事態対応ガイドライン」、「緊急対処要領」に基づき訓練し徹底する。

## 主たる事業の予定

2020年度(2020年4月1日～2021年3月31日)

年	月	日	項目	摘要
2020	3	20	大山崎山荘美術館企画展	・ 生誕130年 河井寛次郎展 (～6月14日)
	4	6	2020年度助成授与式	
	6	1	理事会	・ 2019年度事業報告、計算書類等承認の件
	6	26	定時評議員会	・ 2019年度事業報告の報告、計算書類等承認の件
	6	27	大山崎山荘美術館企画展	・ 「スイスの絵本作家展」 (～9月6日)
	9	19	大山崎山荘美術館企画展	・ 「藤田嗣治 手紙の森へ」 (～11月30日)
	11	1	2021年度芸術文化活動助成公募開始	募集期間：～11月30日
	12	12	大山崎山荘美術館企画展	・ 「みうらじゅん展」(～3月7日)
2021	1	下旬	芸術文化活動助成選考委員会	・ 2021年度芸術文化活動助成案件の選考(～2月)
	3	上旬	理事会	・ 2021年度事業計画・収支予算の承認の件 ・ 2021年度芸術文化活動助成選考結果承認の件

以上